

平成二十一年度前期選抜学力検査

国語

(十時～十時四十五分、四十五分間)

問題用紙

- 意
- 一、「開始」の合図があるまで開いてはいけません。
 - 二、答えは、すべて**解答用紙**に書きなさい。
 - 三、問題は、**1** から **3** までで、六ページにわたって印刷してあります。

なお、問題用紙のほかに別紙があります。

- 注
- 四、「開始」の合図で、**解答用紙**の決められた欄に**受検番号**を書きなさい。
 - 五、問題を読むとき、声を出してはいけません。
 - 六、「終了」の合図で、すぐに筆記用具を置きなさい。

1

次の(一)～(九)の各問いに答えなさい。(二十三点)

(一) 次の①～⑥の文の傍線部分について、漢字は読みをひらがなで書き、ひらがなは漢字に直しなさい。

① 彼に仕事を任^レせる。 ② 人権を擁^レ護する。

③ 早期の決断を促^スす。 ④ ゆうびんポストをさがす。

⑤ さいばんの新しい制度が始まる。 ⑥ 成長がいちじるしい。

(二) 次の①、②の文の□にあてはまる言葉として、最も適当なものを下の中からそれぞれ一つずつ選び、その記号を書きなさい。

① 取引を□に行う。

ア、構成

イ、厚生

ウ、公正

エ、恒星

② 劇団の□を鑑賞する。

ア、公園

イ、講演

ウ、公演

エ、後援

(三) 次の①、②の各組の傍線部分の語のうち、用法・はたらきが他の三つと異なるものをそれぞれ一つずつ選び、その記号を書きなさい。

① ア、窓をあけると気持ちが良い。

イ、ずつと向こうのほうにある。

ウ、太陽が出ると暖かい。

エ、毎春秋になると思い出す。

②

ア、この部屋にはごみがほとんどない。

イ、大雨なので外へは出かけられない。

ウ、ここは暗すぎてまったく見えない。

エ、その日のうちに着くことができな

(四) 次の①～③の文は、「綿」という漢字の意味や成り立ちなどを、漢和辞典を使って調べ、漢和辞典を使って調べたものである。□Aにあてはまる最も適切な言葉と□Bにあてはまる数字をそれぞれ書きなさい。

① 音訓索引を使って、「メン」という音読みや「わた」という訓読みで調べる。

② □A 索引を使って、「いとへん」の項で調べる。

③ 総画索引を使って、□B 画の項で調べる。

(五) 次の①、②の四字熟語が表す意味として、最も適当なものを下の中からそれぞれ一つずつ選び、その記号を書きなさい。

① 東奔西走

ア、互いに励まし合い努力し合って、競争すること。

イ、自然の景色が清らかで美しいこと。

ウ、方向が定まらないまま、いろいろ試してみることに。

エ、ある目的のために、忙しく駆け回ること。

② 順風満帆

ア、物事が順調に進行すること。
ウ、他人の意見を聞き流すこと。

イ、暖かい春の風が穏やかに吹くこと。
エ、態度が立派で、堂々としていること。

(六) 次のA、Bの文について、言い表していることの違いを説明しなさい。

A 桃は、私の好きな果物です。

B 桃も、私の好きな果物です。

(七) 次の①～③の熟語は、どのような結びつきをしている熟語か、最も適当なものを次の中からそれぞれ一つずつ選び、その記号を書きなさい。

① 雷鳴

② 寒冷

③ 帰郷

ア、上下の意味が対になる語
エ、上が下を修飾する語

イ、上下の意味が似ている語
オ、下が上の目的や対象を示す語

ウ、上と下が主語と述語の関係にある語

(八) 次の①、②の文について、傍線部分を適切な敬語の表現に直すとき、最も適当なものを下の中からそれぞれ一つずつ選び、その記号を書きなさい。

① 私が先生の家へ行く。

ア、いらっしゃる
ウ、うかがう

イ、おいでになる
エ、うけたまわる

② お客様が注文をした。

ア、おこなつた
ウ、いたした

イ、いただいた
エ、なさつた

(九) 次のA、Bの慣用句のうち、どちらか一つを選び、選んだ慣用句を適切に用いて、慣用句としての意味を生かしたまとまりのある文、または文章を作りなさい。

A 実を結ぶ

B 目をみはる

(次のページへ) ←

2

別紙の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。(十七点)

(一) 二重傍線部分①「あくまでも」、②「こぼす」の本文中での意味として、最も適当なものを次の中からそれぞれ一つずつ選び、その記号を書きなさい。

① {ア、いわゆる イ、どこまでも ウ、あるいは エ、ほとんど }

② {ア、心配する イ、涙を流す ウ、あふれさせる エ、不平を言う }

(二) 波線部分①、②のカタカナと、次のア〜エの傍線部分のカタカナを漢字に直すとき、波線部分①、②と同じ漢字を使うものはどれか、次の中からそれぞれ一つずつ選び、その記号を書きなさい。

① 尊チヨウ
ア、彼女はとも格チヨウ高い文章を書く。 イ、熱を加えたら膨チヨウした。
ウ、評論家は社会の風チヨウに敏感だ。 エ、彼は意外と慎チヨウな性格だ。

② コウ論
ア、この町の人コウは増加している。 イ、優勝のコウ補に挙げられている。
ウ、祖父のコウ物は魚料理だ。 エ、少ない時間を有コウに活用する。

(三) 傍線部分①「前もって」が修飾している言葉として、最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

{ア、かかわりを イ、十分 ウ、経験している エ、起こる }

(四) 傍線部分②「文脈のズレがクローズアップされる」とは、どのようなことを言っているか、本文中の言葉を使って「文脈」「クローズアップ」の意味を明らかにしながら書きなさい。

(五) にあてはまる言葉として、最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、こうして イ、ところが ウ、なぜなら エ、その一方

(六) 傍線部分③「に」と、同じ用法・はたらきのあるものを、次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、子どもが元気に走り回っている。 イ、あいにくとよくない天気になった。
ウ、彼の話は実に愉快だ。 エ、ついに彼女は金メダルをつかんだ。

(七) 傍線部分④「言葉を換え、また論理や筋立てを変えて語り直すことになる」とあるが、これと同じ内容をくわしく述べている最も適当な一文を抜き出し、最初の五字を書きなさい。(句読点も一字に数える。)

(八) 傍線部分⑤「深いかかわりの中で自己が発見される」とあるが、これはなぜか、その理由を、深いかかわりをもつにつれて生じる欲求にふれて、本文中の言葉を使って書きなさい。

3

次の【発表原稿】は、中学生のあやのさんが「総合的な学習の時間」に三重県のごみの現状について調べたことをまとめたものである。これを読んで、あとの各問いに答えなさい。(十點)

【発表原稿】

私は、ホームページなどを参考にして、三重県のごみの現状について調べました。

資料提示① 三重県全体で企業や家庭から一日に出されるごみの量は、おおよそ二千トン、学校のプール約十九杯分にもなっています。

資料提示② そして、その捨てられたごみの約七割は、焼却されたり、埋め立てられたりしています。資料提示③ 近年の状況をみると、三重県で一年間に出されるごみの量は、少しずつ減少してきています。

三重県は二〇〇四年度に、ごみに対する意識を調査するためのアンケートを実施しました。資料提示④ そのアンケート結果によると、九割以上の人が「使い捨て社会に対してこのままでいいのかと感じる」と回答し、危機感や疑問を持っていることがわかりました。

資料提示⑤ そのような意識のあらわれか、三重県では、家庭で個人が一日に出すごみの量は毎年減少してきていますが、まだ全国平均より多いという結果も出ています。

そこで、さらにごみの量を減らそうという考えから、「使い捨て社会」を見直そうという動きが広まっています。そして、最近では「ごみをどう処理するか」よりも「ごみを出さない」ということに重点を置いたさまざまな取組が、個人や団体、企業や官公庁などで進められています。

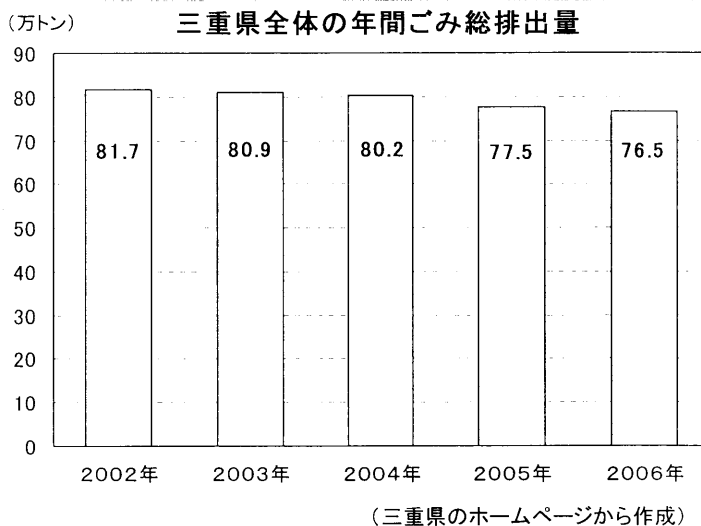
これからも美しい自然がいっぱいの三重県にしていくためには、私たち一人ひとりがごみを出さない取組を行い、それをみんなの行動へと広げていくことが大切だと思います。

(一) あやのさんは、次の【資料A】、【資料B】を発表中に提示したいと考えている。【資料A】、【資料B】は、【発表原稿】の文章中の

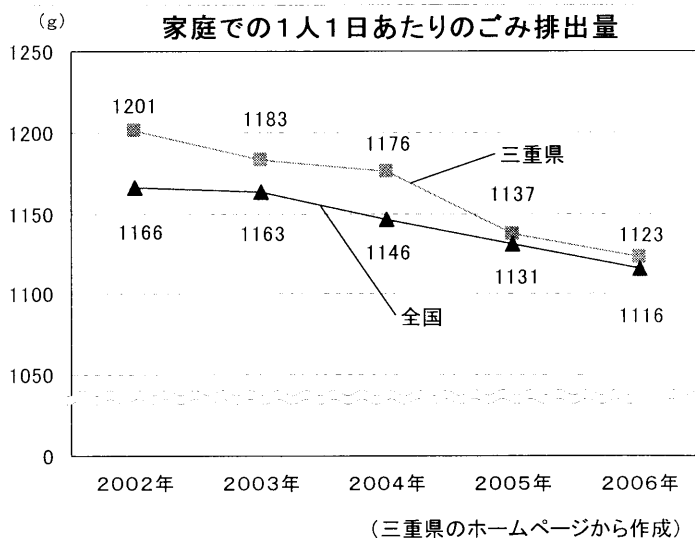
資料提示① 資料提示⑤ のどの時点で提示するのが効果的か、資料提示① 資料提示⑤ から、最も適当なものをそれぞれ

一つずつ選び、番号を書きなさい。

【資料A】



【資料B】



(二) 【発表原稿】の文章中に傍線部分「私たち一人ひとりがごみを出さない取組を行い、それをみんなの行動へと広げていく」とあるが、あなたの考える「ごみを出さない取組」を具体的にあげ、その取組を「みんなの行動へと広げていく」ためにできることについて、あなたの意見や考えを「作文の注意」にしたがって書きなさい。

〔作文の注意〕

- ① 題名は書かずに本文から書き出しなさい。
- ② あなたの意見や考えとその根拠が明確に伝わるように書きなさい。
- ③ 原稿用紙の正しい使い方にしたがって、全体を三百字以上四百字以内にまとめなさい。

おわり